

ちばの木が、未来を育む。 伐って、使って、植えて、育てて。



森林のはたらき

千葉県の森林は、私たちの暮らしと深く関わる機能を有しています。
その恩恵は日常の暮らしの隅々にまで広がっています。

土砂災害防止 土壌保全

土砂崩れ・流出を防ぐ

水源涵養

雨水を土壤に蓄え、
河川の洪水防止や、
水量を安定させる

地球環境 保全

二酸化炭素を吸収し、
地球温暖化を抑制する

物質生産

木材や薪の生産

保健・ レクリエーション

保健や
レクリエーションの
場となる

生物多様性 保全

多くの生物が生息する
場となる

快適環境 形成

防風や大気浄化により
快適な環境をつくる

文化

伝統文化伝承の場とし、
自然観をつくる

伐って

使って

植えて

育てて

森林資源の 循環利用

森林がもつ機能を十分に発揮するためには、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を行うことが大切です。この循環利用により、適切な森林整備が実施されるとともに、将来の木材利用が可能となります。

また、二酸化炭素を吸収した木材を木製品として使うことは、炭素を長期間貯蔵することにつながります。

伐採跡に適地適木で再造林し、
適切な植栽密度で植林します。

植える

使う

製材・加工して建築・
内装・製作・製品へと
活用します。

育てる

下刈り・除伐・
枝打ち・間伐で、
育成環境を
確保します。

伐る

生育段階に応じた間伐と
成熟期の主伐を計画的に実施します。



ちばの森から木製品になるまで

千葉県は、県土面積の約3分の1が森林です。
人工林では、スギの占める割合が最も高く、
その多くが利用期を迎えています。
「ちばの木」を使うことで、千葉県の森林を元気にしましょう。



伐採



画像提供：千葉県森林組合



画像提供：千葉県森林組合

製材



画像提供：株式会社三橋管サービス 三橋製材所

